

平成23年度

東女10月号

彼岸も過ぎ、暦通りに秋の気配が濃くなってきたこの頃です。このところの気温の低さは思わず、身をちぢめてしまいますが、子どもたちは運動会の取り組みに元気いっぱいです。目当ての友だちが出来たり、新しい物事への関心が高まったり、体を動かす心地よさを味わいながら、作品展では、友だちとの関わりもさらに深まり、活発に行動するようになった子どもたちです。物事にじっくり取り組む気持ちも育みながら、心身ともに大きく成長できるようにと思います。気温の変化に悩まされるこの頃です。健康管理をしっかりとって元気にすごしましょう。



年少

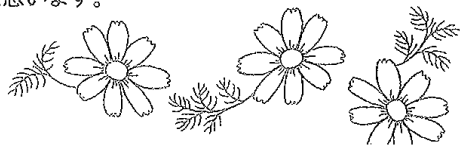
保育者が差し出したイメージの中で沢山遊んできた子どもたち。こぶたのお面を出しておくで「これ、かぶろう」と同じものをかぶってまごごとをしたり「おおかみだぞ〜」と保育者の真似をして「ここをお家にしよう」とおおかみとこぶたの追いかけてこが始まったり、友だちと一緒に遊ぶことがとても楽しいと感じているようです。

砂場では汽車を走らせ「こっちにも線路ができたよ〜」「こっちにもあるよ」「ね、山作ろうよ」「トンネルつくろっか〜」と少しずつ自分の思ったことを言葉にしなが、同じ空間で、同じようなイメージの中で遊びを展開していく姿も見られます。そのなかで、自分のイメージと違ったり、使っていたものをとられてしまったりすると「ダメ」「今は僕が使ってるの」と訴える姿もでてきました。同時に手がでてしまうこともあります。ひとりひとりの気持ちを引き出し、保育者が言葉にして補足しながら、人との関わり方を知っていけるようにしていきたいと思ひます。

これから、さらにお弁当屋さん、みんなで作ったお家でのおうちごっこなど遊び環境を作ることで、共通のイメージの中で友だちとのやり取りが楽しめるようになってきました。

砂場の上を見て「ね〜先生、キウイ！！」「先生！何かあるよ！」と砂場の上にキウイが突ってきたことに気がついてきました。収穫の時期がきたら、みんなで収穫をしたいと思ひます。プランコの後ろにあるザクロ、芙蓉の花、おしろい花など、身の回りの自然物を利用して、まごごとやアクセサリー作り、マカス作りなどをして秋の自然に触れていきたいと思ひます。

衣替えの季節になりました。「袖が濡れちゃって気持ち悪いね、袖をまくるとよかったね」と手洗いや砂場遊びなどの際の腕まくりを伝えていきます。また、袖の裏返しを直すということも、繰り返して生活するなかで取り組んでいき、自分で出来ることを増やしていきたいと思ひます。



今月の目標

年少組 ・共通のイメージの中で友だちと関わって遊ぶ

年中組 ・仲間との遊びを楽しみながら、互いに気持ちを伝え合い、相手の気持ちを感じていく

年長組 ・仲間の中で一人一人が自分の考えや思いを充分に発揮する
・友だちと協力する体験を通し、認め合い、支え合い、協調する気持ちをもつ

今月のおやくそく

・気温を感じて衣服の調節をしましょう



年中

一学期の遠足で親しんだカエル大王から、また手紙が届きはじめました。「ひょうたん島」はどんな島なのか？「すごく遠くにあるらしいよ」「いっぱい泳いでいっぱい船に乗るんだって」「好きなものでいっぱいになる島ってどんな島だろう？」大王からの手紙をヒントに様々なイメージが広がっていきます。船に乗ったり、浮き輪をして泳いだりしながら、島探し。途中、恐竜の足あとを見つれたり、サメに追いかけられたり、小さい島に家を作った子もいるようです。

頭の中で描いていた「ひょうたん島」がだんだん現実になっていきます。運動会では、各クラスでイメージした「ひょうたん島」をご覧頂けると思ひます。ひょうたん島をきっかけに、走る、投げる、踊る、友だちと2人で力を合わせるなどの運動も活発に行なわれています。身体のパランスが良くなり、思いきり力を出すことが出来るようになった子どもたちです。ルールを守って取り組むことも出来るようになりました。運動会での元気いっぱいの姿をお楽しみに。

しだいに季節は秋に向かっていきます。「空に羽みたい雲が出てくるよ」「ネコジャラシが茶色くなってきたよ」毎日発見を伝える子どもたち、アサガオの花で色水を作ったり、公園で見つけて来たドングリでケーキを作ったり、風船カズラもたくさん実をつけて、子どもたちは種子あつめに夢中です。季節の変化を見つかけながら、自然と親しんで欲しいと思ひます。

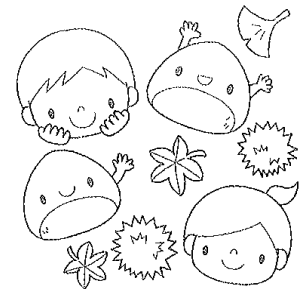
「先生、今日〇〇ちゃんと遊ぶんだ」クラスの中に新しい友だちを見つけた子が多くなってきました。夏休みカレンダーの発表を聞いて「こんなに話すの、はじめて聞いた」と新しい姿を発見し出して、新しいグループで誘い合えるようになってたり、きっかけは様々ですが、クラスの一員として、色々な友だちの姿に関心を持ち、ぶつかり合ったり、共感したりしながら、新しい関係を作っていくってほしいと思ひます。関心があるから、ちよっかいを出して「いじわるする」と言われてしまいうもいます。そんな時「どうしてそうしてしまったんだろう？」「どうすれば、けんかにならなかったんだろう？」と友だちとの関係の中で考え合うことを大切にしていってほしいと思ひます。

今月の新しい歌

年少組 てをたたきましよう
どんぐりころころ
まつぼっくり

年中組 うちゅうせんのうた
こぎつね

年長組 ハッピーチルドレン
あおいそらにえをかこう



年長

運動会の活動を通して、友だちと協力すること、その中で自分はどんな役割があるのかということをも1人1人が考えて取り組んできました。初めは「年長組になったら、これをやるんだ」と形として取り組んでいたところがあつた子どもたちが、「今日の組体操はどんなことに気をつけようか」と目標を持つようになり、「ピラミッドの上に乗るのはこわい」と言っていた子も諦めずに取り組もうとするようになってきました。リレーでは、走る順番を話し合うと「遅い人って言うと言われた人はかわいそう」と相手の気持ちを考えたり、取り組みの中でいろいろなことに気付き、「〇〇ちゃんできるようになったね！」「頑張ってたよ！」と友だちに認められたり、自分でやりとげたという思いが自信に繋がっていききました。また、遊戯では、海の神様からの手紙から「海の神様に踊ってるところ見せようよ！」「この布は緑だから海藻だね。黄色はヒトデ、オレンジはサンゴ」と海や沖縄のイメージを広げ表現したり、ひとつひとつの振りの意味を考えながら踊ることを楽しんでいきます。

いろいろな場面でクラスで話し合うことが多くありますが、一学期とは違って、友だちにしっかりと自分の意見を伝えたり“どうしてそう思ったのか”ということも考え伝えていけるようになってきました。互いの良いところを伝え合うだけでなく「今、それしちゃうダメなんだよ」と注意し合う姿も見られます。一方では周りの目や思いを気にしてしまい自分の思いを伝えられずにいる姿もあります。自分の思いをひとりひとりが充分に伝えられる機会を作りながら、話し合いを深めていけるように思ひます。

季節も変わり、自然に触れる機会がさらに増えます。秋の味覚“さつまいも掘り”では、土の感触やにおいを感じながら、土の中にどう芋がなっているのか、葉っぱはどうついているのかを見たり、自分たちだけで電車に乗って出掛ける体験を通して、たくさんのことを感じていく機会となればと思ひます。

作品展の取り組みも始まっていきます。友だちとイメージを伝え合い、広げていきながら、友だちと協力することや一緒に作り上げていく楽しさを味わっていきってほしいと思ひます。